

平成 28 年度県西地域大学連携事業について

1 趣旨

「未病の戦略的エリア」である県西地域において、県西地域活性化プロジェクトの一環として、大学が持つ専門的な知見と若者（学生）の視点を活かし、地域と連携して、「未病を改善する」取組みの促進に繋がる新たな事業を展開することで、更なるプロジェクトの推進を図る。

2 事業概要

9 大学から 10 事業の提案があり、うち 3 事業を採択した。

< 採択事業一覧 >

大学名	事業名	事業内容
小田原短期大学	乳幼児から始める未病に関するアプローチ～保育と食育を通じた地方創生～	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活がおろそかになりがち子育て中の働き盛りの家庭を対象に、簡単で栄養価の高い料理の調理体験や子育てに係る講義等を実施（9月、10月実施済み、11月も実施予定）。 ・就学前の幼児と保護者を対象に、食べる楽しさを知り多様な食材体験等ができる調理実習（「保育版おだたん食育村」）を3月に実施予定。
東海大学	「未病に係わる観光体験」の情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・未病の認知度の向上のため、「未病いやしの里の駅」で、食や運動、癒しなどを学生が体験し、その様子の動画を8月からYoutube等で発信している。かなチャンTVでの配信も準備中。 ・12月には、学生がお薦めする「未病いやしの里の駅」を巡るモニターツアーも実施予定。
横浜薬科大学	県西地区の農産物を素材とした「薬食同源」による県西オリジナル未病対策の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・柑橘類（主に湘南ゴールド）の果皮に含まれるロコモ症候群等の高齢者特有疾患に効果が期待される有効成分の機能性を実証するため、果皮の粉末の加工方法や商品化に向けた課題を整理するとともに、特別養護老人ホームの入所者を対象にした臨床試験を検討。 ・高校生やその保護者を対象にした未病を改善するための普及啓発講演を、小田原総合ビジネス高等学校で実施（12月）。